

そのような前提条件を理解してアンケート結果を見てみると、9割近くの受講生が「まあまあ理解できた」、「ほとんど理解できた」と回答し、8割前後が「まあまあ満足」、「十分に満足」と会としているのは、当たり前の結果ではないことが分かります。この要因は事前課題による予習や事前質問を用いた学生と講師のコミュニケーションなどの成果であるとともに、卒業生というお立場からの講師のみなさまの強い情熱と後輩に対する思いやりによる教育効果だと言えます。

#### 4. おわりに

本学がこれまで進めてきたキャリア教育は、アクティブ・ラーニングの導入を経てさらに深化しつつあります。本学が推進する教育改革の取り組みは、今年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム（テーマⅣ：長期学外学修）」に採択されたことから、社会からの高い評価と期待を得ていることが分かります。これらの活動を通じて、本学が教育目標として掲げる「広い視野と深い専門的知識及び教養と倫理観に基づく識見と行動力により、社会の指導的役割を果たす品格ある人材の育成」を実現し、社会における本学卒業生の活躍とその継続による小樽商科大学のブランド価値向上のために、今後も緑丘会との緊密な連携と引き続きのご支援をお願いいたします。